府立成城高等学校　定時制の課程
准校長　大見　真一

令和６年度　学校経営計画及び学校評価

１　めざす学校像

個に応じた「確かな学力」の定着と、「豊かな心」をはぐくみ、将来を「生き抜く力」を身に付けさせることによって、地域社会や保護者から信頼される学校をめざす。

１　地域社会や生徒の実情を踏まえ総合学科のメリットを生かし特色ある教育活動を展開し、社会生活を営む上で必要な基礎的・基本的な学力の定着を図る。

２　他人を思いやる心や自然や美への感性など「豊かな心」をはぐくみ、規範意識と自律心を身に付けた生徒を育てる。

３　教職員が一丸となって『学校力』を高めあい、生徒に「生き抜く力」を身に付けさせる。

２　中期的目標

１　確かな学力の定着と学びの深化と魅力ある授業の実践

（１）　生徒一人ひとりの学力を把握し、総合学科のメリットを生かした特色ある教育活動を通じ、学力「基礎基本的な知識・技能、学ぼうとする意欲、学び続ける姿勢、他者との望ましいコミュニケーション力」の定着を図る。

ア　生徒の興味・関心を高める教科・科目の設定を行い、生徒の「学ぼうとする意欲」を高め、基礎的・基本的な知識・技能・教養を定着させる。

イ　生徒支援の視点から、知識、意欲、適性、学習歴等の個別データ等を教職員全員が共有することで、きめ細かな個別の指導を行うとともに、学校教育活動全般を通じ、生徒の「学び続ける姿勢、他者との望ましいコミュニケーション力」を定着させる。

ウ　新学習指導要領の確実な実施と観点別評価にともない教員間の意思疎通と生徒の実態に即した組織的な授業力の向上と教員相互評価を図る。

（２）　生き生きとした活力ある学校組織と魅力ある授業をめざして

ア　教員としての全般的な力量を高めるため、また活力ある学校組織の推進のための学校運営を行うとともに効果的な職員研修を実施し、あわせて教員の働き方改革についても推進する。

イ　魅力ある授業を実現するため、１人１台端末の活用に向けたアクションプランを周知し、ＩＣＴ機器の活用と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の取組みについて推進する。

※　研究授業や授業研究期間等の様々な取組みを通して令和７年度には、「先生の授業はわかりやすく楽しいと思う（授業満足度）」85%以上（Ｒ３　76%、Ｒ４　81%、Ｒ５　93%）を維持する。

２　「豊かな心」と規範意識を身に付けた生徒を育てる

（１）　規律・規範のある学校環境をつくり、様々な活動を通して、豊かな心と自律心をはぐくむ取組みを推進する。

ア　生徒の自主性を育てる取組みを実践するとともに、地域社会への奉仕活動を行い、地域社会から信頼される学校をめざす。

イ　多様な学校行事や系統的な教育プログラムを通じ、互いに他者を大事にできる生徒の集団づくりを行う。

※　生徒・保護者の「成城高校に入ってよかったと思う（学校満足度）」令和８年度まで 90%以上（生徒Ｒ３　87%、Ｒ４　92%、Ｒ５　93%・保護者Ｒ３　100%、Ｒ４　97%、Ｒ５　100%）を維持する。

ウ　規律・規範のある学校環境をつくり、社会ルールを順守する姿勢を育成するための生活指導をすすめ、生徒の自律心をはぐくむ。

（２）　キャリア教育、人権教育の推進

ア　入学時から卒業までを見通した進路指導計画に基づき、キャリアコーディネーターと連携しながら、卒業時の就労希望者・進学希望者の進路決定率 100%をめざす。

イ　「社会の一員としての自主性・自立性」を育成する生徒のキャリア教育、就労や進学に向けた取組みを充実させる。

ウ　人権教育推進計画に基づき、互いを認め合える人権教育の実施といじめ・差別・偏見を許さない態度を育てる。

３　生徒支援を軸にした学校づくり

（１）　生徒支援

ア　生徒支援委員会を中心に学年団や各分掌との連携をはかり、組織的・計画的に個々の生徒に応じた支援を実践する。

イ　学級や部活動における担任・顧問による教育相談をはじめ、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの積極的な活用やＮＰＯとの連携を推進し、生徒の「居場所づくり」をすすめ、教育相談活動と生徒支援の取組みの充実をはかるとともに、自尊感情をはぐくむ教育活動を推進する。

ウ　教員力をより高め、生徒が信頼し相談しやすい安心できる学校づくりを推進するため、支援教育や人権教育に関する研修等への取組みを推進する。

※　令和８年度まで「悩みやいじめ等を相談し親身になって応じてくれる先生がいる」生徒肯定率 85%以上（Ｒ３　73%、Ｒ４　72%、Ｒ５　95%）を維持する。

エ　上記の実践を通じて、中途退学や不登校の減少に取組む。

※　令和８年度には中退率 10%以下（Ｒ３　３%、Ｒ４　８%、Ｒ５　10%）、新入生の登校率 80%以上（Ｒ３　79%、Ｒ４　81%、Ｒ５　87%）を維持する。

（２）　安全・安心な学校づくり

ア　定時制の現状に即した防災教育の実践および、生徒の安全に配慮した学校施設の点検や改善を図る。

イ　健康教育・安全教育実施し、適切に対応できる体制環境整備を実施する。

（３）　学校教育活動の情報発信

ア　保護者や近隣中学校、地域社会に向けて、Web ページ等での積極的な情報発信や広報活動を充実させる。

イ　セキュリティポリシーと個人情報管理のルールを徹底する

府立成城高等学校　定時制の課程

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析［令和７年１月実施分］	学校運営協議会からの意見
生徒回答率 88.6%(80%)、保護者回答率 90.2%(46%)であった。(　)内は昨年度回答率 １)「成城高校に入ってよかったと思う（学校満足度)」: 生徒 97.4%（93.0%）保護者 97.3%（100%）と昨年に引き続き極めて高く、生徒や保護者のニーズに応え、セーフティーネットとしての役割を担っている。授業に関しては「先生の授業はわかりやすく楽しいと思う（教員の指導の満足度)」: 生徒 97.4%（93.0%）「先生は授業や学習面で、よく努力していると思う（教員の指導の満足度)」保護者 100%（100%）「授業の教科科目は工夫されており自分の学びたいものがある（教科・科目、内容の満足度)」: 生徒 92.3%（86.0%）「コンピュータ、タブレット（１人１台端末）などを使った授業はわかりやすいと思う（ICT 機器を活用した授業の満足度)」生徒 94.9%（88.4%）といずれもこれらも昨年度に引き続き高いものであった。 【分析】生徒人数が 44 名と大阪府立定時制高校の中でも少人数ため、回答数によるアンケート数値の振れ幅は大きい。100 分率を持って昨年度と比較した場合、信頼度はやや欠くと考えられるが、今後の学校運営の参考の数値ではある。コロナ禍が一旦収束し、１人１台端末は役目を終え、統合 ICT 端末の更新により、今後の教員及び生徒の ICT 環境の活用方法を改めて検討・計画する必要があるが、その中で１人１台端末の教員の活用実績は積極的に活用したことによって向上し、１人１台端末を活用した、わかりやすい授業実践も向上している。また少人数による指導や０時間め授業や補講などの取組みが成果を上げている。今後も基礎学力の充実と進学や就職等の個別の対応をした応用力の養成をめざした授業力向上のための取組みを進めていく。一方「時間外勤務時間月 20 時間超の教員に管理職より声をかけ翌月の時間外勤務時間減少を促し、累計年間平均 100 時間（110 時間）となった。コロナ禍後の文化祭や体育祭の学校行事の開催が要因と考えられる。学校行事のマニュアルを作成し効率化や業務の分散化等を行うことで教員全体の時間外勤務時間減少を図りたい。 ２)生徒 :「学校で、事件・地震や火災がおこった場合、どう行動したら良いか知らされている（防災教育)」100%（95.3%）「学校の人権学習の授業は、よかったと思う（人権教育)」88.4%（88.4%）「文化祭・体育祭は、楽しく行われている（行事に対する満足度)」92.3%（88.4%）部活動入部率 80.0%（62.7%）学校生活について、「学校の指導は納得できる」89.7%（83.7%）と高い肯定率になった。 【分析】防災教育、人権教育、学校行事、特別活動の方針と指導内容について生徒状況を十分に配慮して、学びや活動に取り組んだ成果が高い肯定率につながったと考える。生徒指導、教育相談においては SC・SSW 及び居場所カフェを活用して、具体の生徒支援につながりつつある。今後も生徒支援のための教員力の向上や研修など対応できる組織づくりを推進していく。 ３)保護者:「学校の教育方針について、理解している（教育方針の理解度)」89.2%（100%）「学校は、さまざまな連絡をよく行ってくれる（学校からの連絡)」94.6%（96.0%）「先生は生徒のことを、よく分かってくれていると思う（教員の生徒理解)」91.9%（100%）と保護者の学校に対する肯定率は昨年度と比較すると下がったが、高い値は維持されている。 【分析】各学年の担任が家庭との連絡を密にしている結果であるが、連絡方法の工夫や手段を働き方改革の側面からは再考する必要が引き続きある。保護者と学校が連絡を密にし、生徒支援を行うことによりお互いの信頼関係は構築される。今後はより効果的、効率的な保護者への連絡方法を模索しながら保護者との連携を大切にしていきたい。	第１回　令和６年６月 24 日（月）実施 【委員より】 ・令和５年度を踏まえた内容。情報共有シートが素晴らしい。 ・時間外勤務について、昨年度は月 20 時間を指標にしていたが、今年度変更した経緯は？ →　残らないといけない時があるので、今年度は年間で、30 時間超過の教職員数は減少したが、10 時間超過は増加した。 ・持ち帰り等の時間外労働は時間外勤務時間に含むのか？ →出退勤スリットの記録のみ把握。 ・教員研修の合理化とは？ →各教科で学校外の研修、学校ごとの研修、その後全体で研修を伝達する場を設けていること。 ・休暇の取得率を入れればもっと労働環境が変化するのでは。時間外労働のような数値目標だけでなく、有給休暇が使いたいときに使えるかなど、実際の教員が元気に働ける環境づくりができているかなどの指標も必要。 ・自殺の問題は大きな社会問題の一つ。自殺防止のための教育が必要。 ・家庭の経済的な問題をかかえる生徒やバイト等で社会との接点がある生徒も多い。社会資源の活用方法や労働基準法などの基本的な知識を身につける場面や教育が必要。 ・目標が高い。前年度より上げるぐらいのほうがいいのでは？ ・授業アンケートの肯定率が高くて素晴らしい。先生方が子どもたちとしっかりと向き合っている証拠。 ・新規項目に中退率 10%未満とあるが、中退率をこの目標にあげないといけないのか？在学中の正規社員はほぼ０人。 入学目的は高卒資格取得のためが多い。最後まで面倒を見て、辞めるような生徒がいないようにしていきたい。ただ、どうしてもやめないといけない時もあるが。 ・情報共有シートは SC としてありがたい。SC として就労支援が指標に入ったことが大きい。 ・登校チェックは呼び名を変えるべきでは？→今後検討 【委員より】 ・連絡ツールが多い中で、自分で伝えることは大事なこと。今後も進めてほしい。 ・１年は中学で長欠だった生徒の入学が多いと聞くが、今年度はどうか？ →ほとんど毎日出席。連絡も必ずしてくれる。 ・その要因は？ →わからないが学校の楽しさがわかってきたのではないか。生徒との距離感をうまく取れていることも要因の一つかもしれない。 〇令和６年度使用教科書について（報告） 〇居場所カフェの状況について 授業前カフェに名前を変更。生徒から名前を募集し「みんなのゆったりカフェ」に決定。目的は生徒支援。教員に話しにくい話をしたり、なにか支援に繋がる場、関係を築ける場になればという思い。 【委員より】 ・開催時間はいつか→17：00～17：50 まで。 ・カフェでの話は情報共有シートに記録するのか？→現在はしていない。 ・今後の展望は？→未定 ・図書室は生徒たちが自由に集まる場所になっていないのか？ →図書室は毎日開いていない。専任の司書がいない。 ・近況報告 出席率が高い。授業も頑張っている様子。校外学習も年次ごとに、それぞれ楽しんだ。３年次のみ学校で人権学習を行った。部活動では、陸上部全国大会出場予定。１年次は全員 SC と面談を行う。今週の金曜日は体育祭がある予定。 第２回　令和６年 11 月６日（水）実施 【委員より】 ・本年度は秋季発表大会に作品を出品できたことは大変よいことだと思う。個人情報保護の厳しい時代なので仕方ないが、どのような作品が賞をいただいたのかわからない（公開できない）のが残念。 ・差別事象０件だが、起こってしまったときにどのように対応するかも重要である。 ・中退する生徒に中退後を見据えたケアをしているのがすばらしい。 ・図書館の活用状況はどのようなのものか →図書館開放の際に特定の２～３名が来ている状況。 ・部活動の加入率の向上の要因は？ →１年次の生徒の加入率の高さが要因と思われる。 ・ヤングケアラーについての講習会とはどんなことをするのか？ →生徒に対して、NPO 団体「ふうせんの会」に講演をしていただき、悩みがあれば相談できるところを知らせること等をする。 ・ヤングケアラーについての講習会は、ほかの学校でも行っているのか。 →「ふうせんの会」の教員向けの講習会はしているが生徒に対しての講習会は定時制では本校が初めてと聞いている。 【委員より】 ・授業アンケートの３年次の数値が低いのはなぜか。 →昨年度の２年次も他の年次に比べ低かったため、クラスの特性によるところが大きいと思われる。授業中のクラスの様子としては、生徒の発言も多く、他の年次と比べても意欲的である。

	【委員より】 ・欠席連絡は音声案内やオンライン等で行っているのか。 →連絡を受けた際に担任等が生徒と直接話をできるよう、電話連絡を基本としている。 ・部活動や居場所カフェ、遅刻欠席連絡など生徒が教員や教員以外の人に話ができるさまざまな場面が用意されているのがいいと思う。そのうえで、まだキャッチしきれてないニーズはあるのか。 →大学進学を希望する生徒が増加している。今後は進学希望の生徒へのより手厚い支援が重要な課題である。 第３回　令和７年２月 10 日（月）実施 【委員より】 ・１人１台端末で教科の特性によって利用しないものは教員の母数が少ないので数値に入れない方がいいのでは。 ・ゲーム同好会ができたのはいいこと。 ・地域行事に参加するのはいいことだが、労働時間など問題はないのか。 ・安心安全に配慮されていることが数値から読み取れる。 ・出席率の高さ、中退転学が０は驚異的なこと。次年度に向けて分析してみた方がいい。 【委員より】 ・居場所カフェが定着していると感じた。次年度も継続していただきたい。 ・生徒指導等で教員を守るためにも録音・録画ができた方がいいのでは。→生徒との信頼関係のことを考えると難しい。 ・不登校生徒への ICT を用いた教科指導等はできないのか。　→登校するのが基本だが、体制は作っている。

３　本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標［Ｒ５年度値］	自己評価
１ 確かな学力の定着と学びの深化と魅力ある授業の実践	（１）個に応じた学力の定着 ア　基本科目の検証、改善、出席率の向上 イ　興味関心を持たせる授業	（１） ア　学力診断テストを実施、生徒個々に対する指導と授業の改善をはかる。 イ　基礎的・基本的な知識・教養の習得のため、教材を工夫し学ぶ意欲の向上をはかる。また「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」等の授業を推進し、する。	（１） ア・学校教育自己診断「授業の教科科目は工夫されており自分の学びたいものがある」生徒の肯定率 85%以上維持〔86%〕 ・全年次の出席率の向上〔84.9%〕［新規］ イ・学校教育自己診断「「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」の授業内容は自分にとってためになっている」生徒肯定率 85%以上〔83.7%〕 ・振り返りシートの全員提出及び活用し、授業アンケートの平均値を１回目よりも２回目を向上させる〔3.62→3.68〕［新規］ ・図書館を開館し、また図書館活用を促進し、読書に興味関心を持たせる〔２期間〕［新規］	（１） ア・学校教育自己診断生徒の肯定率 92.3%（○） ・全年次の出席率 90.4% イ・産社・総合は年間計画で精査中 学校教育自己診断生徒の肯定率 92.3%（○） ・振り返りシート改訂 授業アンケートの平均値 １回 3.70→２回 3.64（△） ・図書館開館２期間 大阪市立城東図書館との連携し貸出実績２冊
	（２）生徒のやる気を高め、魅力ある授業づくりの推進 ア　教員力の向上 イ　教員の働き方改革 ウ　「主体的・対話的で深い学び」の授業の推進とＩＣＴ機器、１人１台端末の活用	（２） ア　組織的・継続的な研修を実施するとともに教員力の向上をはかる。 イ　ゆとり月間を推進し、時間外勤務時間の減少を図りストレス軽減につなげる。 ウ　「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけ、１人１台端末をどの授業でも活用しＩＣＴ機器を活用した授業力の向上を図る。	（２） ア・全職員研修参加率 95%以上を実現する［新規］ ・全日制の授業見学や外部研修を推奨し、参加した知見を関係職員に回覧報告し、職員会議で共有する［新規］ イ・ノークラブデー・定時退庁日を促進し、計画的に有給休暇・振替休暇を取得し、年間を通して時間外勤務 100 時間以内にする〔142 時間〕［新規］ ・学校教育自己診断「学校では、教育活動について教職員で日常的に話し合っている。」教員の肯定率 95%以上〔93.3%〕［新規］ ウ・教員間の相互授業評価を行う授業研究期間の実施継続２回［２回］ ・学校教育自己診断「コンピュータ、タブレット（１人１台端末）などを使った授業はわかりやすいと思う」ICT を活用した授業の生徒肯定率 90%以上〔88.4%〕 ・１人１台端末を活用した授業を展開し、端末を利用している教員数が全体の 80%以上〔66.7%〕 ・１人１台端末を活用し、生徒主体の学習を年１回以上実施の教員アンケート 75%以上〔55.6%〕	（２） ア・メンタルヘルス研修 SSW による校内研修 94.7%（○） ・生活指導研究会報告 各教科教育課程研究会報告 （○） イ・累計年間平均 124 時間 （△） ・学校教育自己診断教員の肯定率 75.0%（△） ウ・２回実施 6/17～7/5、1/8～1/23 授業研究ニュースレター ２回作成 ・学校教育自己診断生徒の肯定率 94.9%（○） ・１人１台端末を活用した授業を展開し、端末を利用している教員数が教員アンケートの結果 75.0%（○）教科特性において利用しない場合がある ・１人１台端末を活用し、生徒主体の学習を年１回以上実施の教員数が教員アンケートの結果 66.7%（○）教科特性において利用しない場合がある
２ 豊かな心と規	（１）規律・規範のある学校生活の充実 ア　生徒会活動の充実	（１） ア　生徒会中心で学校行事を企画し、生徒参加の地域清掃やあいさつ週間や地域行事への参加を実施する。	（１） ア・学校教育自己診断「文化祭・体育祭は、楽しく行われている」生徒肯定率 90%以上〔88.4%〕 ・地域清掃・あいさつ運動・地域行事への積極的な参加や協働を行う〔地域清掃・あいさつ運動・地域行事〕［新規］	（１） ア・学校教育自己診断生徒の肯定率 92.3%（○） ・地域清掃、あいさつ運動、地域行事（城東まつり）参加（○）

府立成城高等学校　定時制の課程

範意識を身に付けた生徒を育てる	イ　特別活動の充実 ウ　規律ある生活指導の充実 （2）キャリア教育、人権教育の推進 ア　進路指導体制の充実 イ　キャリア教育の取組み ウ　互いを認め合える人権教育	イ　豊かな心をはぐくみ、学校生活を充実したものにするため、部活動体験入部などの取組みを実施。 ウ　「成城スタンダード」を基に、規律ある生活指導を推進し、生徒の自律心を高める。授業規律と学習の雰囲気を維持する。 （2） ア　体系的な進路指導計画とＣＣによる、学年毎にキャリア教育ＨＲ等の実施。就労について生徒の意識向上と勤労観をはぐくむ。 イ　「社会の一員としての自立」をめざし、進路対策、就職試験対策の実施。 ウ　良好な人間関係や集団づくりのため、生徒人権研修と人権ＨＲの実施。	イ・部活動入部率 70%以上[62.7%] ・生徒秋季発表大会に参加する〔０作品〕[新規] ウ・学校教育自己診断「学校生活について、学校の指導は納得できる」生徒肯定率 85%以上〔83.7%〕 （2） ア・学校教育自己診断「将来の進路や生き方について考える機会がある」生徒肯定率 90%以上［86.0%］ ・進路未決定０人の実現〔０人未決定〕[新規] イ・キャリア教育として地域企業や外部連携による生徒向け講習会実施年３回〔３回〕 ・資格検定受検者の増加〔２人〕[新規] ウ・学校教育自己診断「学校の人権学習の授業は、よかったと思う」生徒肯定率 85%以上維持〔88.4%〕 ・差別事象０件〔０件〕[新規]	イ・部活動加入率 80.0% ゲーム同好会発足（○） ・美術部、工業科で９作品展示 ウ・学校教育自己診断生徒の肯定率 89.7%（○） （2） ア・学校教育自己診断生徒の肯定率 89.7%（○） ・8/9 決定（大学１、就職２、専門学校１　アルバイト４未決定１）（△） イ・CC による講習会実施 大正区や城東区の企業による進路講習会実施年３回（○） ・漢検２名受検（○） ウ・学校教育自己診断生徒の肯定率 89.7%（○） ・差別事象０件 ・ヤングケアラー講習会
３　生徒支援を軸にした学校づくり	（1）生徒支援 ア　個別の生徒支援の取組み イ　生徒との会話力を高め、信頼と安心の学校づくりに取り組む ウ　不登校及び退学者の減少 （2）安全安心な学校づくり ア　防災・安全教育 イ　薬物乱用防止の継続開催 （3）情報発信 ア　学校 Web ページの充実と情報発信 イ　個人情報の適切な管理	（1） ア　生徒支援委員会を中心に本校独自の生徒支援カードやＳＣ・ＳＳＷを活用した効果的な教育相談と支援の取組み。 イ　生徒が信頼し安心できる学校づくりと職場におけるハラスメントの防止を推進。 ウ　長期欠席生徒への対応と生徒の相談体制を充実させる。新入生登校率の向上。 （2） ア　「生命を守る」防災・安全ＨＲの実施。 イ　学校薬剤師と協力し、薬物乱用防止教室を実施 （3） ア　ホームページの充実を図り、情報発信を推進。 イ　セキュリティポリシーの確認と「個人情報を取り扱う責任」を自覚し、個人情報管理のルール徹底を図る。	（1） ア・学校教育自己診断「学校では、生徒支援のための取り組みを行っている」教員肯定率 90%以上〔80.0%〕 ・登校チェック・登校時挨拶を毎日行う［新規］ ・外部機関と連携し生徒支援を行う［新規］ イ・学校教育自己診断「悩みやいじめ等を相談し親身になって応じてくれる先生がいる」生徒肯定率 95%維持〔95.3%〕 ウ・生徒状況を把握し全教職員での情報共有のための情報共有シートを活用・継続する。[新規] ・生徒情報共有会を年２回実施する。〔２回〕[新規] ・NPO と連携し居場所カフェを実践する。[新規] ・中退率 10%未満〔12%〕[新規] （2） ア・学校教育自己診断「学校で、事件・地震や火災がおこった場合、どう行動したら良いか知らされている」生徒肯定率 95%以上〔95.3%〕 イ・保健係等による薬物乱用防止の生徒向け講習会の実施継続、年１回〔１回〕 （3） ア・学習支援クラウドサービスによる保護者向けの学校情報の配信を毎月１回以上実施し、学校からの情報発信とする。[12 回] ・学校 Web ページの更新 100 回〔87 回〕[新規] イ・個人情報漏洩の事象０件を実現〔０件〕[新規]	（1） ア・学校教育自己診断教員の肯定率 87.5%（○） ・登校挨拶毎日実施 ・SSW と特定非営利活動法人あそーととの就労支援（１件）（○） イ・学校教育自己診断生徒の肯定率 92.3%（○） ・SC による１年生全員面談 ウ・情報共有シートを活用・継続を実施（○） ・生徒情報共有会２回実施 支援会議等を８回開催し 学年単位の生徒情報共有継続（○） ・居場所カフェ 28 回実施（○） ・中退率０%（○） （2） ア・学校教育自己診断生徒の肯定率 100%（○） イ・薬物乱用防止講習会実施（○） （3） ア・15 回情報発信（○） ・学校 Web・SNS　150 回 イ・個人情報漏洩の事象０件（○）